

健保だより

2022年7月
日本郵船健康保険組合

令和3年度決算のお知らせ

- 令和3年度は、保険料は増収の一方、保険給付費、保健事業費は、コロナ禍における受診控えから回復傾向となり、費用増加。納付金増も加わり、前年度比 黒字幅縮小。
- 健康保険料率（一般勘定）は60.00%を据え置き。
- 介護保険料率は15.00%から18.00%へ変更

当健保の令和3年度決算が、7月22日（金）に開催された第163回組合会において可決、承認されましたので、その概要をお知らせ致します。

【健康保険組合を取巻く一般状況】

健康保険組合連合会の集計によれば、令和4年度予算では、全組合の69.5%を占める963組合が赤字予算を組み、平均保険料率（調整保険料含む）は、9.261%で、過去最高を更新する状況となっています。令和4年以降、団塊世代が後期高齢者の75歳に到達し始め、支え手が減少する中、高齢者医療費の増大が見込まれ、健康保険組合財政が一層深刻化する恐れがあり、全世代で負担を分かち合う制度へ早期に転換することが求められています。

【一般勘定 決算概要】

令和3年度決算の一般勘定は、収入の大半を占める保険料収入が963,318千円（前年度比57,284千円増、+6.3%増）となる一方、保険給付費が前年度比16%増の359,712千円、高齢者医療への納付金が前年度比+33%増の447,957千円となり、収入支出差引額は71,313千円の黒字で、前年度比黒字幅が縮小しました。

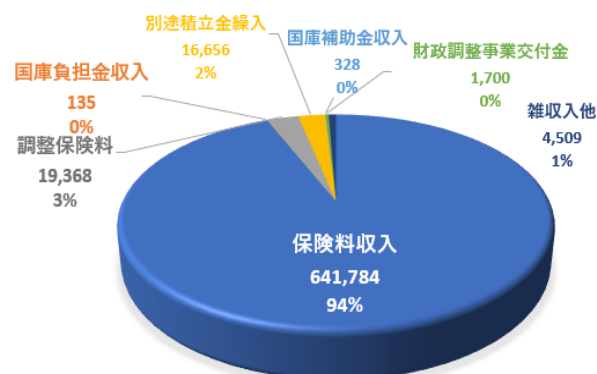
【介護勘定 決算概要】

主な収入となる介護保険料収入は163,169千円となる一方、介護納付金は155,920千円で、その他の収入支出を併せて収支差引額は13,522千円の黒字となりました。

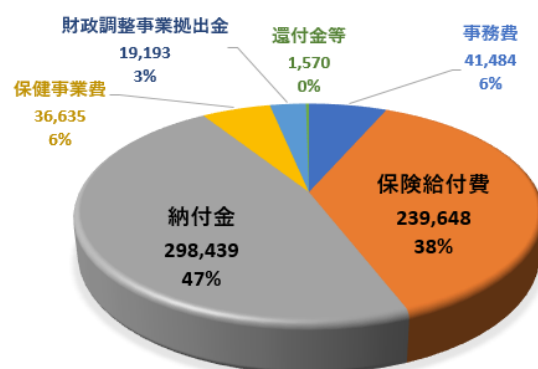
【決算の概要（一般勘定・介護勘定）】

1. 一般勘定

科目	決算額(千円)	1人当り額 (円)
保険料収入	963,318	641,784
国庫負担金収入	202	135
調整保険料	29,072	19,368
別途積立金繰入	25,000	16,656
国庫補助金収入	492	328
財政調整事業交付金	2,552	1,700
雑収入他	6,768	4,509
収入計 (A)	1,027,404	684,480
内、経常収入計 (C)	970,120	646,316



科目	決算額(千円)	1人当り額 (円)
事務費	62,268	41,484
保険給付費	359,712	239,648
内、法定給付費	340,593	226,911
内、付加給付費	19,119	12,738
納付金	447,957	298,439
保健事業費	54,989	36,635
財政調整事業拠出金	28,808	19,193
還付金等	2,357	1,570
支出計 (B)	956,091	636,969
内、経常支出計 (D)	926,986	617,579



収入支出差引額 (A)-(B)	71,313
内、経常収入支出差引額 (C)-(D)	43,134

2. 介護勘定

科目	決算額(千円)
介護保険収入	163,169
繰越金	6,392
国庫補助金受入	0
雑収入	1
収入計	169,562

科目	決算額(千円)
介護納付金	155,920
保険料還付金	120
支出計	156,040

収入支出差引額	13,522
----------------	---------------

【決算残金処分】

1. 一般勘定

決算状況	
収入決算額	1,027,404,002円
支出決算額	956,089,068円
差引残高	71,314,934円

決算残金処分案内訳	
準備金	円
別途積立金	71,061,927円
繰越金	円
財政調整事業繰越金	253,007円
合計	71,314,934円

2. 介護勘定

決算状況	
収入決算額	169,561,066円
支出決算額	156,040,460円
差引残高	13,520,606円

決算残金処分案内訳	
準備金	2,520,606円
繰越金	11,000,000円
合計	13,520,606円

【組合会の議題及び報告事項】

《決議事項》

- 第1号議案：令和3年度収入支出決算について
- 第2号議案：令和3年度事業報告について
- 第3号議案：理事長専決処分事項報告及び承認について
- 第4号議案：令和3年度収入支出決算残金処分について

《報告事項》

- ① 健康保険組合を取巻く現状と課題について
- ② 令和3年度医療費分析について
- ③ 後発医薬品について